

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろKids2nd		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しく体を動かして運動をし、またスモールステップで取り組むことが出来ること	年齢や特性などに配慮し、その子達に合ったプログラムを作ることを中心している	スモールステップで進め、出来ている所は褒めるなどして自信を持って行動できるようにする
2	少人数制なので、しっかりと子どもと関わることが出来、また安心感を持ってもらえること	少人数なので大人の目をしっかりと向けることが出来、安心感に繋がるようにしている。また子どもたちのちょっとした変化を見逃さないようにし、変化があれば職員間で共有するようにしている	良い変化は子どもに積極的に伝える。また子どもたちの姿を見守ると共にこまめに声を掛け安心感に繋がるようにする
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動が固定化されてしまい、子どもたちが飽きてくることがある	部屋の大きさや、既存の道具で出来る運動の内容が限られてきてしまっている	部屋の中で出来る運動を考え、道具も組み合わせや使い方を考えるなどして同じ内容ばかりを繰り返さないようにする。定期的に新しいプログラムを考える。
2	更に多様なプログラムを取り入れて、興味や課題など各々の発達段階に合わせた様々な支援が求められる	限られたリソースの中で、新しいプログラムの導入が難しい事がある	引き続き外部研修、社内研修をより強化し、より専門的な知識を取り入れられるようにする
3			